

作成日時：2026/01/22 10:28

参加者：井田施設長、主任：稲川・徳永、サビ管：富永、小林、王寺川コミュニティセンター長：杉本様、地域包括支援センター：正岡様、福祉保健部福祉課障害支援係:寺田様、家族会会長：稲田様、利用者代表：鈴木様、後藤様

地域連携推進会議議事録

議題

1. 施設長挨拶
2. 施設の概要と利用者の特徴
3. 会議・議題
4. 利用者の日常生活
5. その他

議事内容

■議題1：施設長挨拶

- 地域連携推進会議の目的と背景について説明
 - 障害者や難病患者等が地域や職場で役割を持ち、安心して暮らせる体制構築を目指す
 - 事業所の透明性向上と質の確保のため、外部の目を定期的に入れる
- 会議の構成員について
 - 利用者、家族、地域の関係者、福祉の知見のある方、行政が参加
 - 年1回以上の開催が義務付け
- 今回の会議について
 - 新年度から努力義務となったため、今回初めての開催
 - 次年度はより早い時期での開催を予定

■議題2：施設の概要と利用者の特徴

- 施設の概要
 - 社会福祉法人長岡福祉協会のリハビリセンター王見台
 - 1999年に重度身体障害者更生援護施設として開設
 - 2003年に小規模身体障害者療護施設を併設
 - 現在、更生部と療護部の2つの事業を運営

- 事業内容
 - 更生部：自立訓練10名、施設入所40名、日中一時8名、生活介護30名、短期入所7名
 - 療護部：生活介護30名、施設入所30名、短期入所3名
 - 2020年に通所施設「おおみだい」（生活介護20名）を開所
- 利用者の特徴
 - 更生部：定員40名中36名入所（男性27名、女性9名）、平均年齢62歳
 - 療護部：定員30名満床（男性20名、女性10名）、平均年齢58.9歳
 - 身体障害者が多いが、現在は3障害(身体・知的・精神)すべてを受け入れている。最近では精神障害の方が増えている。

■議題3：会議・議題

①会議の目的

- 施設、利用者と地域との関係づくり
 - 利用者が地域の一員として生活するための関係構築
 - 地域行事への参加促進
- 地域の施設や障害に関する理解の促進
 - 地域に開かれた施設を目指す
 - 施設と地域の双方向の連携深化
- 施設のサービス透明性の確保
 - 外部の目を入れることで、運営やサービスの透明性を向上
 - 利用者の声がサービスに反映されているかの確認

②運営状況と取り組み

- 運営方針
 - 質の高いサービスの支援
 - 地域生活に向けた自立への支援
 - 安定した経営と信頼される支援
- 経営状況
 - 稼働率目標：更生入所96%、療護入所95%、通所80%
 - 人員確保に苦慮、職員紹介制度や派遣会社の活用
- 支援の質向上への取り組み
 - ICT機器の積極的導入（インカム、タブレット、音声入力システム等）
 - 多様化する障害への理解深化と職員スキル向上
- 地域連携・交流活動
 - 地域合同防災訓練の実施
 - 小中学生を対象とした福祉教育の実施
- BCP（事業継続計画）の策定と訓練実施

- 虐待防止への取り組み
 - 虐待防止委員会の設置
 - 定期的なチェックリストの実施
 - 年1回以上の施設内研修の実施
 - 監視カメラの設置検討

4. 利用者の日常生活の様子

- 様々な活動やイベントの実施
 - カラオケ、食事会、オセロ交流会等のレクリエーション
 - 防災訓練、外出支援
 - 地域の小学校との交流活動
 - 地域の祭りへの参加
- 家族会との連携
 - 他施設への見学会の実施
- リハビリ活動の実施
- 高校生の総合学習受け入れ（視覚体験等）

5. その他特記事項

- 施設見学を実施し、利用者の生活環境を直接確認
- 次回の会議では、より早い時期での開催を検討